お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

✨野外ピクニック礼拝のお知らせ✨
今年のゴールデンウィーク、神さまの創造された自然の中で共に礼拝をささげ、楽しいひとときを過ごしませんか？
🌞【日時】2025 年 5 月 6 日（火・祝） 午前 10 時～
🌳【場所】野底山森林公園
🍖礼拝、バーベキューパーティーや宝探しゲームなど、大人も子どもも楽しめる企画が盛りだくさん！
🧺ご家族・お友だち・どなたでも大歓迎です！
ぜひお気軽にご参加ください。

■ 信州祈り会は、5 月 12 日（月）佐久ホープチャペル（邑山 清門先生）にて開催される予定です。

聖徒の為に祈りましょう。
・コロナとインフルエンザから守られますように。
・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)

礼拝とは

ヨハネの福音書 4 章 24 節

「神は霊ですから、神を礼拝する者は霊とまことによって礼拝しなければなりません。」

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダ). 平澤寿子(祈祷)
夕方賛美礼拝柳澄香(賛美リーダ).鈴木真由美(祈祷)
水曜礼拝 (お休み)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校（小学生まで）	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会. 火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

週報 2025-17 号 2025.4.27

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会

395-0807 飯田市鼎切石 3883-4
TEL 0265-56-8286
www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)
副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝　　AM 11:00～

賛美リード　　韓芽唯

信仰告白　　(使徒信条)
代表祈祷　　北原明子
特別賛美　　インマヌエル聖歌隊
お知らせ
聖書個所　　ヨハネの福音書 4:24
メッセージ　　(礼拝とは 1)　　柳 承吉牧師
賛　　美　　神の家族
祝　　祷　　柳 承吉牧師

夕方賛美礼拝　　PM 2:20～

賛美リード　　韓芽唯

代表祈祷　　平澤寿子
聖書個所　　マタイの福音書 7:11
メッセージ　　(恵み)　　柳 承吉牧師
主の祈り

水曜礼拝　　PM 7:00～

司　　会　　高木はつ江
代表祈祷　　柳澄香
聖書個所　　ローマ書 5:1-11
メッセージ　　柳 承吉牧師
(ローマ書５章の概略-1)

今週の御言葉

「礼拝とは」　ヨハネの福音書 4 章 24 節

礼拝とは、「創造主なる神に賛美と栄光を帰し、感謝をささげ、神を高く崇める行為」です。礼拝を通して、私たちは神に感謝し、神を賛美し、栄光をお返しするのです。

しかし、もし私たちが神にささげる礼拝をないがしろにしてしまうなら、神との関係も、信仰の成長も正しく築くことはできません。

1. 神が受け入れられる礼拝

礼拝は、信仰生活において基本中の基本です。
そして、主の日を聖別して守るうえでも、礼拝は中心的な役割を持っています。礼拝は、神との出会いの場です。神と親しく交わり、心を向ける大切な時間です。
「神は霊ですから、神を礼拝する者は霊とまことによって礼拝しなければなりません。」(ヨハネ 4:24)

2. レビ記に記された祭儀と今日の礼拝

旧約時代、神は民に祭儀を命じました。『レビ記』にはその詳細が記されています。旧約時代、罪を赦されるためには動物を屠り、その血をささげなければなりませんでした。血を流すことなしには、罪の赦しはなかったからです。

罪人は本来、神に近づくことができません。けれども、神は罪人にも赦しの道を備えてくださいました。
それが血の犠牲です。しかし、旧約の犠牲は一時的なものであり、完全な赦しではありませんでした。
ですから、イエス・キリストが小羊となり、一度限りの完全な犠牲をもって、私たちすべての罪を贖ってくださいました。今、私たちはイエス・キリストの御名によって、直接神に近づくことができるのです。

だからこそ、私たちの礼拝は、もはや動物の血によるものではなく、イエス・キリストの血によるものとなったのです。

3. 礼拝は私たち一人ひとりが主役です

『レビ記１章４～７節』を見ると、犠牲をささげる者は、自ら手を下して動物を屠らなければなりませんでした。

「彼は、全焼のささげ物の頭に手を置かなければならない。それが彼のために受け入れられ、彼のために贖いをするためである。彼は【主】の前で全焼のささげ物をほふり、アロンの子たちである祭司たちは、その血を取り、会見の天幕の入り口にある祭壇の周りに血を振りかけなければならない。彼は、全焼のささげ物の皮をはいで、これを部分に切り分けなければならない。祭司であるアロンの子たちは、祭壇の上で火を整え、火の上にたきぎを並べなければならない。」

罪の赦しは、祭司がすべて代わりに行うものではありませんでした。罪を負った本人が、自らの手で犠牲をささげ、血を流したのです。
今日の礼拝も同じです。礼拝の場において、私たちはただ「見る者」ではありません。「ささげる者」なのです。

礼拝は、私たちの命の源です。礼拝を正しくささげることが、信仰生活のすべての出発点であり、中心であり、完成です。
心から、神に向かって、霊とまことによって、礼拝をささげましょう。